

鏡野町第四次行財政改革プラン（概要案）〔1/2〕

～行財政改革の3つの柱～

1. 人を引き付けるまちづくり

①双方向的な関係づくり

- ・ 必要な情報の的確な広報
- ・ 魅力の再発見とアピール
- ・ 対話と交流の創出



②創意工夫の地域づくり

- ・ 施設維持から拠点維持へ
- ・ 行政主導から地域主導へ
- ・ 補助制度の活用



③公民共創の推進

- ・ 寄附の募集の拡大
- ・ 新たな事業の共創
- ・ 人材の呼び込み



～町内～

住民
団体・事業者
役場など



協働・共創

関心・参加
寄附・移住
など

～町外～

個人
企業・大学
国・県など



2. 成果を引き出す役場づくり

①組織の改革

- ・ 改革のための組織づくり
- ・ 縦割りの打破
- ・ 素早い意思決定



②業務の効率化

- ・ 事務作業及び経費の削減
- ・ 働き方などの見直し
- ・ DXとAXの推進



③新たな課題への挑戦

- ・ 提案募集の活性化
- ・ 課を越えた取組の応援
- ・ 人材育成と人事交流



3. 未来に引き継ぐ仕組みづくり

①政策推進の改革

- ・ 行政評価の見直し
- ・ データの活用
- ・ 優先順位の明確化



②予算編成の改革

- ・ 収支の厳しい管理
- ・ 課単位の予算の配分
- ・ スクラップ&ビルド



③施設管理の改革

- ・ 将来のコストの可視化
- ・ 計画書と予算の連動
- ・ 将来を見据えた見直し



これからも「住み続けたい」と思える、活力と魅力のあふれるまちへ

鏡野町第四次行財政改革プラン（概要案）〔2/2〕

～財政健全化に向けた道筋～

◆ 目標と進め方

- ・ これ以上の基金の取り崩しを抑えるため、財源確保や事業見直しにより、**年間5億円の収支改善**を目指す
- ・ **令和9～11年度**を集中取組期間として、推進本部と推進プロジェクトチームを軸に、役場全体で進める

□ 財源確保

2.5億円/年の改善が目標

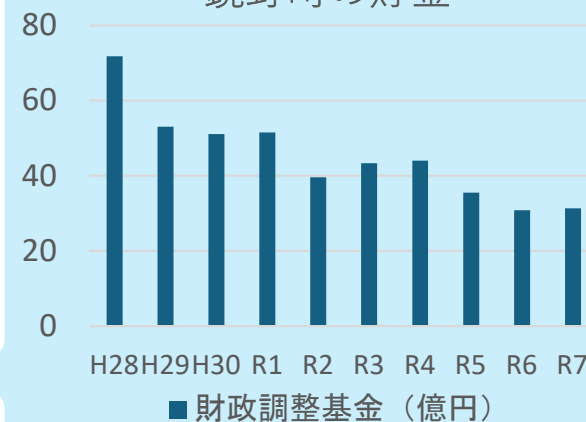
- 1② 創意工夫の地域づくり ・ **補助制度の活用** **0.5億円/年**
✓ 国などの補助制度を活用しながら、地域主導の取組や事業を支えていく
- 1③ 公民共創の推進 ・ **寄附の募集** **1.5億円/年**
・ **新たな事業の共創** **0.5億円/年**
✓ まちの魅力をアピールして、個人や企業などに支援や協力を求めている

□ 事業見直し

2.5億円/年の改善が目標

- 2② 業務の効率化 ・ **事務作業及び経費の削減** **0.5億円/年**
- 3② 予算編成の改革 ・ **ソフト事業の見直し** **1.0億円/年**
✓ 予算の中でできないことは止め、費用対効果が高いものを優先していく
- 3③ 施設管理の改革 ・ **ハード事業の見直し** **1.0億円/年**
✓ 将来の人口やまちの姿を予測して、施設のあり方や運営を見直していく

鏡野町の貯金



鏡野町の貯金といえる財政調整基金は、**10年で40億円減少**



今後の社会保障費や施設管理費の増加、物価高傾向を考えると、**年間5億円の収支改善が必要**

役場の能力を高め、地域や町外の活力を引き出していくことで、安易なサービス削減や事業凍結を回避

厳しい財政状況の中でも余力を生み出し、新たな課題に対応し続けられる持続可能なまちへ